

サバイテイー



ラオス通信
No. 12
2014年6月6日
文責 嶋田 聖子

チャンパー

日本は梅雨に入りましたね。ラオスも最近は、昼間や夕方に突然大雨が降るようになりました。ラオスの場合は1時間ほど降ったら、からつと晴れて涼しくなります。毎日35度前後の暑さなので、とてもありがたい雨です。

クワティヌン小学校での授業

この前は、近くにあるクワティヌン小学校に行って、2年生に算数の授業を行いました。この小学校には、いろいろな民族の子どもたちが通っています。ラオスで一番多いラオ族が半数でその他にもモン族やカム族という民族の子どもたちも半数います。家族との会話では、ラオ族はラオス語を話しますが、モン族はモン語、カム族はカム語を話します。それでは、小学校では何語を話すのでしょうか？実は、小学校では、先生も子どももみんなラオス語なのです。小学校1年生のときに、モン族やカム族の子どもたちもラオス語を勉強し、ある程度ラオス語を話したり書いたりできるようになります。モン語やカム語は、ラオス語と似ているわけではなく、全く言葉も文字も異なる言語です。日本人が英語を勉強するように・・・。モン族やカム族の子どもたちは大変苦労してラオス語を勉強し、そのラオス語で、国語や算数、理科、社会などの教科を学んでいます。

私は2年生に「数の大きさを比べよう」という授業をラオス語で行いました。



わたし 私の言っていることを理解しようとし、一生懸命

勉強していました。ただ、「どうして、その数が大きい

いとわかったの？」と理由を尋ねると、ラオス語で

説明するのはとても難しいようでした。おそらく、

わかつっていてもラオス語でどう説明すればいいのか

わからないようでした。ラオス政府によると、ラオスには49の民族が住んでいると

されています。それぞれの民族で言葉が異なります。しかし学校ではラオス語で

学習するようになっています。ラオス語がわからないと学校の授業はわからない。

ラオスの学校の問題の一つとして、そういう民族にかかる問題があります。

今が旬！ラオスのフルーツ

大家さんの庭には、南国フルーツが実り出しました。



バナナ
(ラオス語でマーククワイ)